



2019年2月8日

各 位

会 社 名 大王製紙株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 佐光 正義  
 コード番号 3880 東証第一部  
 問 合 せ 先 執行役員経理部長 矢野 雅史  
 (TEL. 03-6856-7513)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は最近の業績の動向を踏まえ、2018年5月11日公表の2019年3月期通期の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 2019年3月期通期（2018年4月1日～2019年3月31日）連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	550,000	18,000	15,000	10,000	68.62
今回発表予想 (B)	540,000	10,000	7,000	3,500	23.32
増減額 (B-A)	△10,000	△8,000	△8,000	△6,500	
増減率 (%)	△1.8	△44.4	△53.3	△65.0	
(ご参考)前期通期実績 (2018年3月期)	531,311	11,062	12,779	3,971	27.25

## 2. 差異の理由

2018年5月11日に公表しました2019年3月期通期の業績予想のセグメント別の営業利益につきましては、11月8日に当社ウェブサイト上の「2019年3月期 第2四半期 決算説明資料」で、紙・板紙事業は洋紙・板紙の価格修正を見込んだことにより45億円から95億円に見直し、ホーム&パーソナルケア事業はティッシュ・トイレット等の製造コストがパルプ等の高騰により上昇したこと及び韓国・インドネシアの計画未達を織り込んだことにより120億円から75億円に見直し、営業利益の総額180億円は据え置いています。

	紙・板紙 セグメント利益	ホーム& パーソナルケア セグメント利益	その他 セグメント利益	計
	百万円	百万円	百万円	百万円
2018年5月11日公表	4,500	12,000	1,500	18,000
2018年11月8日修正 (A)	9,500	7,500	1,000	18,000
今回発表予想 (B)	6,000	4,000	0	10,000
増減額 (B-A)	△3,500	△3,500	△1,000	△8,000

今回の売上高の修正につきましては、11月8日の業績予想に対して、紙・板紙事業では価格修正が概ね計画通りに決着する見通しであるものの、ホーム&パーソナルケア事業で、国内及び海外のベビー用紙おむつの販売計画の未達により100億円減少し5,400億円となる見込みです。

営業利益につきましては、第2四半期累計期間では業績予想を上回りましたが、紙・板紙事業では11月以降、古紙価格が想定よりも1割程度高値で推移していることなど原燃料価格が高騰していること、及び物流コストが上昇していること、更には当社主力の三島工場で2019年1月に発生した火災の影響により一部生産設備の操業を停止したこと等の影響により、セグメント利益は60億円となる見込みです。また、ホーム&パーソナルケア事業では、少子化の進行により想定以上に競争環境が厳しさを増している国内のベビー用紙おむつで販売目標が未達となる見通しであること、及び物流コストの一段の増加に加えパレット輸送や大型倉庫の稼働によるコスト低減効果が来年度にずれ込むこと等の影響により、セグメント利益は40億円となる見込みです。加えて、その他のセグメント利益が機械事業の受注減により10億円下回る見込みであることから、営業利益は80億円減少し100億円となる見込みです。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、営業利益が80億円減少することにより、経常利益は70億円となり、当期純利益は35億円となる見込みです。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上